

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆらんこ		
○保護者評価実施期間	2024年11月 1日 ～ 2024年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職員の特性を生かした療育を提供できることや、各自の療育への思いを発揮して支援を行えること。事業所内だけでなく、法人全体で研修、問題を話し合える環境があること。	支援会議、保護者面談など利用者や家族と情報共有出来ている。会議に専門職員によるサポートや支援を織り込み、発達段階で対応した相談や意見交換を行ったり、先輩パパママによる懇談会を催すなど、意見交換の場を設けている。その場において園や学校、進学についての情報や、地域の情報にも触れることができている。	施設内でスーパーバイズできる職員が、職員の研修や利用者への家族に対する研修に参加し、相談など受けられるようにする。
2	こどもの行動観察の評価は事前の打合せやミーティングの前に、毎回行っている。	事前ミーティングで記録を共有している。何かあった時や特記事項の場合は時間を設けている。	支援システム(ソフト)を活用し、日頃の記録や家族との連絡、評価、個別支援計画、請求などを関連付けて全体を把握し、職員全員で連携しながら支援する。
3	活動プログラムが固定化しないよう毎月、多様なプログラムを設定している	毎月、活動プログラムの主たるスタッフが交代し合い、ミーティングを行いながら工夫をしている。	利用児や親からの要望や、職員の得意分野など、職員会議やミーティングに課題を取り入れて、話し合う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援や懇談など開催しているが、きょうだい向けの支援(きょうだい会)の実施には至ってなかった。家族参加のイベントに、きょうだい参加している状況になっている。	きょうだいに対するの交流や支援については、さまざまな問題が家族内にあり、安易に入り込めない状況にあったため、実施できていなかった。	季節や節目に応じて行っているイベントに、家族も参加してもらっているため、きょうだいも、さらに楽しんでもらえる内容を取り入れて、家族やきょうだいの交流の場として、事業所機能を活用してもらえようとする。
2	定期的に通信を出して子ども達の様子を知らせているが、ホームページの更新が、しばらく(写真などの更新が)できていなかった。	利用者の家族には日頃の活動について、定期的に通信などでお知らせしているので、ホームページは更新を疎かにしてきた。	事業所の紹介を今までよりも積極的にを行い、利用者や興味のある方にも事業所の紹介をしていきたい。
3	こども園や保育園との情報交換は出来ているが、行事の交流は出来ていない。	保育園、こども園などの懇談会において、先生方との意見交換などは出来ているが、園児との交流までは出来ていない。(園の行事と兼ね合いが難しい)	園や学校との懇談の際に、交流について提案をおこなってみる。利用しているこども達が、地域との交流に参加できているか調べて、地域の中で成長していけるよう支援していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ゆらんこ

公表日 2025 年 2 月 1 日

利用児童数

33人

回収数

32

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	2	0	0	こどもが3～4人であれば十分だと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1	0	3	子供1人に対して1人付いていたら適切だと思います。多いから適切なか目安が分からない	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	4	0	3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	0	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	0	0	2	色んな専門家がいるみたいなので受けていると思います	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	2	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	0	0	0		
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	3		
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	31	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	4	1	2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	8	3	15	まだその機会に参加したことがないからわからない	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1	1	1		
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	2	0	2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	1	0	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	31	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	6	1	9	弟は支援対象者ではないですが、兄がゆらんこへ行くのをうらやましそうにみているので、きょうだい交流会があったらおもしろいかもと思います。きょうだいどうしの交流の機会がまだ設けられていない	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1	0	2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	6	1	4	出欠等はLINEで良いと思いますが、活動の様子等は紙の方がうれしいです	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	1	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	2	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	3	0	1	何日も前から行きたいと言っています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	2	0	1		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ゆらんこ		公表日 2025年 2月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	広く使う時は、物品、机を片付けて工夫している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	こどもが、見通しを立てやすいように、スケジュールを工夫している	手すりの設置
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	パーティションの利用	児の様子や活動内容によって、もう少し工夫をしていく必要がある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個室やパーティションの利用	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	事前ミーティングで毎回、確認をしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向け研修会	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的に面談あり、業務について何かあった時にも相談しやすい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	新人研修、ボードゲーム、虐待等研修、防災訓練、	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	行動観察の評価は、毎回必ずしている。事前のミーティングで必ずしている。打合せの前に毎回行っている。	
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎月多様なプログラムを設定している。プログラムが、固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	基本的には事前ミーティングで実施。主に記録にて共有、何かあった時はそのまま話し合う事も多い。特記の場合は時間を取っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7	0		
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	状況に応じて場を作る	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	2名で参加することが多い、（うち1名は現場担当者）職員間で共通理解してから参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	施設内でのスーパーバイズはある。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	図書館での読み聞かせ会、手遊び、わらべうたへの参加。地域の祭り、七夕祭りに参加。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や親子絵本、懇談、家庭サポート支援などで、出来ている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		
	32	【 児発事業所・児発センターのみ 】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	支援者会議、保護者面談にて情報共有している。ケース会議等を通して、園と情報共有や相互理解など行っている。	
	33	【 児発事業所・児発センターのみ 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	面談や支援会議にて行っている。保護者より情報を伝えてもらう事が多い。	
	34	【 児発センターのみ 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	6	0	子ども部会への参加。各事業所間の計画案の共有を行うこともある。	
	35	【 児発センターのみ 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0	事業所関係者の専門家による助言	
36	【 児発センターのみ 】（自立支援）協議会・子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	0			
37	【 放デイのみ 】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	送迎未実施		
38	【 放デイのみ 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	面接や支援者会議にて行っている。		

	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	面接や支援会議にて行っている。	
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者同士での交流実施（JUV(ママ会) ベアトレ後保護者同士で交流をみかけることもある。きょうだい同士は未実施	
	46	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	児に関しては、絵カード等で意思伝達している。保護者には口頭、連絡帳や必要に応じてラインも使用。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	地域の行事に参加	
	51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	定期的に行う。また希望があれば、それ以外でも行う。	
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	アセスメントシート	
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	医師の指示所はないが、保護者からの聞き取りや、アレルギー調査票をもとに対応している。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	実施している。	
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	降所時など、必ず手をつなぐ。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		

60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		契約時に必ず、身体拘束については説明している。
----	--	---	---	--	-------------------------